

## ◆ 平成28年度 活動報告シート ◆

団体名：氷川の杜まちづくり協議会

19A-47

代表者：会長 小峯政昭

URL :

### 1. 活動が必要とされた状況

氷川参道は、さいたま市の歴史・文化的資産であり、都心部に残された貴重な緑の空間です。

しかし、通行人が並木敷きへ立ち入り、並木敷きは締め固まり、樹木が傷んできている問題があります。

本活動は、氷川参道を緑豊かな歩行者系のシンボル軸として将来にわたり引継ぐため、並木敷きへ低木の植栽を行うことで通行人の立ち入りを防ぐことにより、現状の並木を保全し、また、参道にふさわしい景観の整備を行うことを目的としています。



### 2. 活動の内容（実施時期、参加人数、活動内容など）

神社、協議会、市の三者協働により事業を実施、秋に並木敷きへの植栽を行いました。

主な活動は以下のとおり。

実施区間：氷川参道東側並木敷き（浅間町1・2丁目境～一灯式信号機 総延長約215m）

#### 1) 植栽の実施

実施時期 平成28年11月12日、11月20日

各日の午前・午後

参加者 各日の午前・午後 各15名程度

内容 中低木植栽を行った。



### 3. 活動の成果

事業開始から7年目となり、今年度にて当初計画していた区間の参道の東西への植栽が完了します。これにより、並木敷きへの立ち入りの防止と、景観の向上という成果が達成される状況です。また、今年度実施区間でもこれまでの植栽の取り組みを御存じの方が多く、苦情なく完了することが出来ました。これまでの当協議会の取り組みにより、沿道の方々の並木敷き保護に対するご理解も浸透してきている成果だと言えます。

また今年度は2月に、低木植栽実施完了後の継続した維持管理として、実施から年月がたった区間での剪定を行っています。

### 4. 今後に残された課題

これまでの活動によって、当初予定区間約1.4kmの植栽が完了し、並木敷きへの立ち入りや景観向上の成果を上げています。一方で、これまで植栽した中低木が枯れてしまっている区間もあり、実施完了後の継続した維持管理が課題となっています。今後も当協議会では、良好な氷川参道の並木敷きの維持のため、引き続き活動を継続していく予定です。